

# みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

## 目次

- p1 トピックス：災害公営住宅の整備が進んでいます！
- p2 みやぎ“復興人”：東松島市矢本運動公園仮設住宅自治会
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



**メールマガジンによる配信も行っています！** 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して [fukusuim@pref.miyagi.jp](mailto:fukusuim@pref.miyagi.jp) まで送信願います！

## トピックス

# 災害公営住宅の整備が進んでいます！

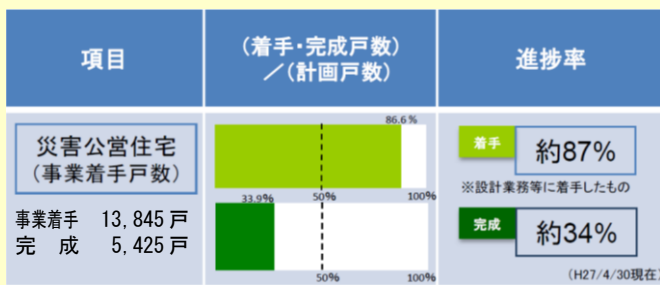
災害公営住宅整備の進捗状況と入居者の声をご紹介します。

東日本大震災から4年が経過しましたが、現在も約62,000人の被災者の方々が応急仮設住宅等で生活しています。

県では、市町とともに被災者の生活再建に必要な恒久的な住環境の確保に向け、「宮城県復興住宅計画」に基づき、災害公営住宅の整備を推進しています。

災害公営住宅については、平成29年度までに21市町村で15,988戸を整備する計画となっており、平成27年4月末現在では、全体の約34%にあたる5,425戸が完成しました。

## <災害公営住宅整備状況(平成27年4月末現在)>



▲現在建築中の共同住宅タイプの災害公営住宅



▲昨年完成した「あおい地区第Ⅰ期災害公営住宅」

## 災害公営住宅入居者の声

○東松島市の「あおい地区第Ⅰ期災害公営住宅」に平成26年11月に入居され、現在、自治会長の相澤さんにお話を伺いました。

私は震災で自宅を被災し、みなし仮設住宅（民間賃貸借上住宅）で暮らしていました。みなし仮設住宅には、住民が集まってイベントなどをする集会所がなく、住民同士の交流がほとんどありませんでした。

公営住宅に入居した当初も、地域の違うところから入居してきた人が多いことなどもあり、なかなかコミュニケーションを取ることができませんでした。

今回完成した災害公営住宅は戸建てですが、家の周りを高いフェンスで囲っていないので、外に出れば近所の様子が分かります。すぐに顔を合わせられる環境なので、住民同士が互いを見守り、助け合うことができます。

この地区にはまだ集会所等の施設が無いため、交流イベントなどができていませんが、これからあおい地区の整備が進み施設等が充実してくれば、住民同士の繋がりがより強くなると思います。

住民同士がすぐに顔を合わせられる関係で、いつも笑顔があふれる地域になって欲しいと思っています。

【問い合わせ先】 災害公営住宅整備状況について（県復興住宅整備室） ☎022-266-1066

【関連リンク先】 復興の進捗状況 URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>



今月号の復興人は、「東松島市矢本運動公園仮設住宅東自治会」と防災集団移転先のまちづくりについて協議する「あおい地区まちづくり整備協議会」の会長を務めている、小野竹一さんにお話を伺いました。

### ●自治会でのこれまでの取組を教えてください。

震災当時は、皆が心に傷を負って、笑顔が無く、同じ地区に暮らしていた知り合いですらあいさつを交わさないほどでした。

どうすればこの状況を変えることができるかと考えていたとき、子供達が笑顔で走り回っているのを見てると、大人も元気が湧いてくることに気づきました。

そこで、震災の年に3週連続でクリスマスパーティーを開催しました。当初は子供達に参加してもらうための企画でしたが、実際に始めてみると子供からお年寄りまでみんなが参加し、楽しんでもらうことができました。また、翌年の春にはお花見会でギネス記録（123人が輪になって腕を組み、一斉に立ち上がる）にも挑戦しました。残念ながらギネス記録達成はできませんでしたが、このようなイベントを通して、今まで交流がなかった人たちが会話をするきっかけとなり、みんなから笑顔が生まれるようになりました。

こうした取組は、震災当初はボランティアの方々の協力を頼っている部分がありましたが、今では自治会を中心に、自分達でできるようになってきました。今後の集団移転に向けて、住民が主体となってまちづくりを行うための基礎ができてきたと感じています。

### ●防災集団移転に向けての取組を教えてください。

あおい地区まちづくり整備協議会は、あおい地区を日本一住みやすいまちにすることを目指しています。そのために協議会では、街並みを検討する部会や自治会のルール作りを考

える部会など8つの専門部会を設け、必要に応じて住民参加のワークショップを開催し、住民の意見を反映させたまちづくりを行っています。

例えば、まちの景観を守るための「街並みルール」は、沿道の幅や隣地との境界に設置する柵の高さの制限など、細かな部分まで住民と話し合って決定しました。将来的に街並みを守っていくため、「街並みルール」を地区計画条例にし、立て替えなどによっても景観を保っていくことができるようにしました。

また、今後高齢化は更に進んで行くことから、自治会を中心に地域で高齢者を見守る地域コミュニティを作っていると考えています。

景観だけでなく、心の面でも日本一を目指し、あおい地区で幸せな時間を過ごせたと感じるまちにしていきたいです。

### ●今後の抱負をお聞かせください。

集団移転が完了するまでは、まだ数年かかり、長い仮設住宅での生活に苦しんでいる方もたくさんいます。そうした方々と一緒に、「日本一の団地に行けるんだ」という夢を持ち続けながら、最後の一人まで支えていきたいと思っています。



■小野竹一会長（左）と東松島市矢本運動公園仮設住宅（右）

☎小野竹一 会長

☎080-3142-2888

## 全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

### 応援職員紹介コーナー Vol.32



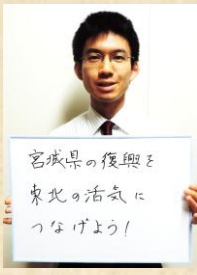
氏名 吉井 昭宏 (ヨシイ アキヒロ)  
派遣元 神奈川県  
所属 住宅課

神奈川県から4月に派遣されました。宮城県での業務は、住宅施策の企画及び普及振興で、主に応急仮設住宅の基礎補強に関する技術支援をします。震災復興でお役に立つことはないものかと探しており、今回派遣の機会に恵まれ宮城に単身で来ました。宮城には年に2~3回は来ていましたので慣れ親しんだ所です。少しでも宮城の皆さんのお役にたてるよう一生懸命頑張ろうと思っています。



氏名 望月 正晃 (モチヅキ マサアキ)  
派遣元 埼玉県  
所属 住宅課

埼玉県は、川越の蔵作りや、秩父の夜祭りなど見所も多く、狭山茶や深谷ねぎなどの特産物も有名です。業務は災害公営住宅や県営住宅、市町村営住宅の整備に係る交付金の交付申請書、実績報告書の作成、市町村への指導・審査及び検査などを行っています。宮城県は、美味しい食べ物が多く、特に海産物は新鮮で感動しています。復興に向けて、少しでも力になれるように精一杯がんばりたいと思います。



氏名 上松 信 (ウエマツ マコト)  
派遣元 新潟県  
所属 震災援護室

中越地震を経験した新潟県から来ました。中越地震から昨年ちょうど10年目となり、新潟県は復興の節目を迎えています。こちらでは、災害弔慰金や災害援護資金に係る業務を担当しています。初めて経験する分野のため苦労もありますが、新鮮な楽しさがあります。宮城県に来てからは、蔵王チーズのおいしさに夢中になっています。復興の力になれるよう精一杯頑張っています。



氏名 竹田 哲人 (タケタ テツト)  
派遣元 熊本県  
所属 震災援護室

「くまモン」と「阿蘇山」で有名な熊本県から来ました。「馬刺し」も美味しいです。宮城県は初めてですが、温かい人柄とたくさんの美味しい食べ物に囲まれて大好きになりました。現在は、仮設住宅の一つである民間賃貸借上住宅の契約や入退去管理等の業務をしています。皆様が安心して恒久的な住宅へ移れるよう業務に尽力したいと思います。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・100万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号 ※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2015年4月14日 火曜日掲載

震災がもたらした大きな喪失。「震災を体験した子どものこころのサポート」(仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/04/blog-post\_89.html

大切な人やものを亡くした「喪失体験」によって「悲嘆」を抱える人々に寄り添う「グリーンサポート」。震災遺児も対象とした「NPO法人子どもグリーンサポートステーション」の佐藤利憲さんが、福祉関係者のためにワークショップを開催しました。



2015年4月29日 水曜日掲載

荒浜に、もう一度、にぎわいとなりわいを (亶理町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/04/blog-post\_87.html

阿武隈川河口の漁港・荒浜と「鳥の海」。「鳥の海ふれあい市場協同組合」のメンバーは震災の直後から、「畑を、漁を、きっと再開させる。市場も必ず復活させよう!」と立ち上がりました。4年が過ぎ、荒浜には少しずつにぎわいが戻ってきています。



2015年5月2日 土曜日掲載

秘境が広がる奥松島を回る魅力的な遊覧船(東松島市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/05/blog-post\_38.html

奥松島にある嵯峨渓は日本三大溪の1つに数えられる景勝地。神秘的な断崖絶壁が魅力です。2013年10月に再開した奥松島遊覧船に、4月20日、新型船「嵯峨みらい」が加わり、ゴールデンウィークで訪れた観光客を楽しませました。



2015年5月6日 水曜日掲載

未来の南三陸町へ!美しいツバキの花を! (南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/05/15003.html

「大津波にも負けなかったツバキの根の強さに生き方をならおう」と、「ツバキの避難路」「ツバキグッズ」などツバキを軸にしたまちづくり「南三陸椿ものがたり」に取り組んでいる工藤真弓さんに、震災から1500日を振り返っていただきました。



2015年5月11日 月曜日掲載

「クラフト」の力で復興のメッセージを発信(名取市、七ヶ宿町、山形県)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/05/blog-post\_19.html

関上の日和山で東日本大震災の大津波に耐え、2年間は生き永らえたものの3年目に枯れてしまった2本の桜。平成26年に伐採されたこの桜の木が新たな製品に生まれ変わり、「関上クラフトエイド2015」で発表されました。



2015年5月15日 金曜日掲載

母国のために役立ててください～広がるネパール地震被災地支援～(気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/05/blog-post\_15.html

「東日本大震災では世界中から支援をいただいています。ネパールの人たちのことを放っておくことはできません」「できることで恩返しをしたい」。4月25日にネパールで発生した地震の被災地のために、気仙沼市民の間で支援の輪が広がっています。



宮城県任期付職員を募集します

宮城県では、復旧・復興に向けて一時的に増加している業務に携わる任期付職員を募集します。

なお、応募に当たっては実務経験や資格等が必要になります。詳細は、募集要項(※)をご覧ください。

※県人事課ホームページからダウンロードするか、郵送で請求できます。

【募集概要】

- (1) 募集職種 (採用予定人数)
  - ①土木 (71人程度) ②保健師 (14人程度)
- (2) 配属先
  - ①宮城県、石巻市、塩竈市、気仙沼市、山元町、女川町
  - ②宮城県、石巻市、気仙沼市、名取市、山元町、南三陸町
- (3) 第1次試験(考査)日
 

平成27年7月12日(日) 仙台会場・東京会場  
※土木のみ。保健師は書類選考。
- (4) 任期(予定)
 

平成27年11月1日～平成30年3月31日
- (5) 申込期限
  - ①土木: 6月22日(月) ②保健師: 7月3日(金)

問 県人事課 ☎ 022-211-2286  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/>

トピックス

石巻市の復興情報を展示しています

平成27年3月7日に、石巻市の復興まちづくりの計画や情報を発信する施設「石巻市復興まちづくり情報交流館中央館」がオープンしました。

震災の風化防止と新たなまちづくりの理解を深めてもらうために、「震災前」「東日本大震災時」「将来」の石巻についてパネルや模型等を使って紹介しています。

また、施設内には市民同士または来訪者との交流や懇談の場として交流スペースもあります。



- 開館時間
 

9:30～18:00  
※交流スペースは夜間21時まで利用可能(要予約)  
また、火曜日は休館
- 住所
 

石巻市中央2丁目8-11
- 問 石巻市
 

復興まちづくり情報交流館  
☎ 0225-98-4425

関連リンク: 石巻市ホームページ  
<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 内 内容等 問 問い合わせ

第6回夢いちごの郷「ふれあい市」(山元町)

いちごの試食やいちご狩りが体験でき、家族で楽しめるイベント。旬の取れたて野菜等の地場産品販売も人気です。

- 日 平成27年6月7日(日)
- 開催時間 10:00～14:00
- 所 山元町農産物直売所「夢いちごの郷」駐車場
- 問 山元町農産物直売所「夢いちごの郷」
- ☎ 0223-37-1115

仙台うみの杜水族館が7月1日オープン(仙台市)

豊かな東北の海、自然環境を体感できる大水槽「いのちきらめくうみ」や川の水槽をはじめ、生きものを通じて世界との絆を体感できるゾーン、イルカ、アシカによる東北最大級のパフォーマンス、ペンギンやアシカ等とのふれあいによる癒やし体験など、様々な魅力がいっぱいです。

- 日 平成27年7月1日(水)
- 開館時間 9:00～18:30
- 所 仙台うみの杜水族館  
(仙台東部道路仙台港ICを出てすぐ)
- 問 仙台水族館開発株式会社
- ☎ 022-355-2222

さんさん朝市(南三陸町)

南三陸町で震災後初となる「朝市」が南三陸さんさん商店街で開催され、新鮮な海産物や獲れたて野菜を販売します。朝ご飯(焼き立てパン、おこわ、朝がゆ等)も用意する予定です。

- 日 平成27年6月7日(日)
- 開催時間 6:00～8:30
- 所 南三陸さんさん商店街センターコート
- 問 さんさん朝市実行委員会
- ☎ 0226-25-9880

マリナル女川おさかな市場銀鮭・かつお祭り(女川町)

今が旬の「銀鮭・かつお」をテーマにしたお祭りです。市場特製の汁物の無料振る舞いや、旬の海産物などが格安販売されます。

- 日 平成27年6月13日(土)～14日(日)
- 両日ともに10:00～15:00
- 所 マリナル女川おさかな市場内
- 問 マリナル女川事業協同組合
- ☎ 0225-54-4714

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第37号

【発行日】平成27年6月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話: 022-211-2408 e-mail: fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/)  
「震災・復興」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

